

授業での活用（実践報告例）

【工業テクノロジー科】

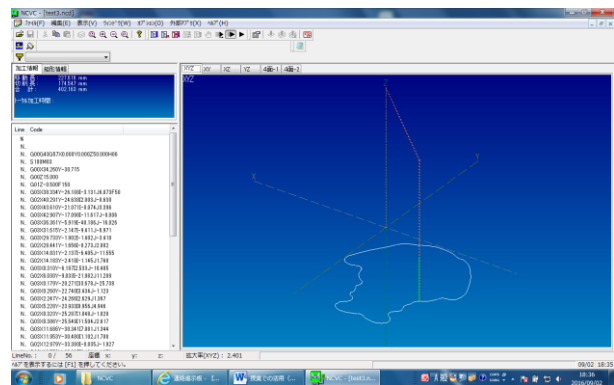
- 1) 使用ソフト名（価格）
 - ・ N C V C （フリー）
 - ・ C o m n c 3 （フリー）

- 2) 使用状況

学年	学科	科目	週あたりの使用率 (使用時間数 / 授業時数)
専Ⅱ	工業テクノロジー科	N C 加工実習 B	1 / 2

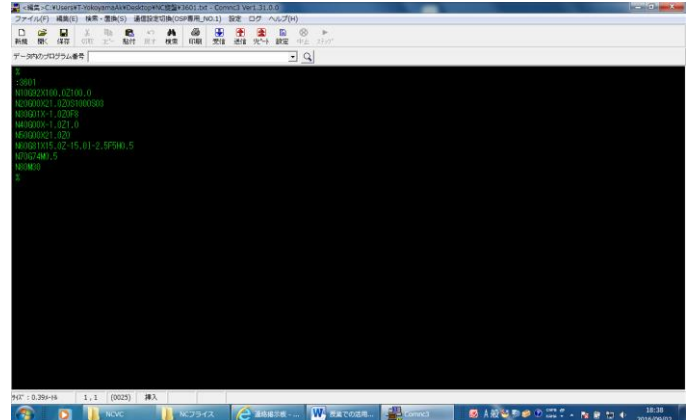
- 3) 使用例および生徒の反応

・ N C V C は、N C プログラムの自動作成ならびに加工軌跡シュミレーションソフトである。記号化されたプログラムが、画面上に具体的な形として、さらに動的に表現されることによって、プログラムへの理解と関心が高まった。



・ C o m n c 3 は、R S 2 3 2 C インターフェイスを介した工作機器との通信ソフトである。

従来、手書きのプログラムリストを記入したプロセスシートを見ながら、加工機に直接入力していたものが、パソコンからのデータ作成と、ソフトによる通信によって、各段に能率化が図られ、長いプログラムにも対応でき、生徒のプログラム作成意欲の向上につながった。



- 4) 今後の展望（来年度に向けての工夫等）

- ・ このアプリを利用することで、従来方眼紙の上で手書きだったものが、パソコン画面でのシュミレーションとなり、教えやすくなる。
- ・ 生徒の直観的な理解とプログラム作成への意欲が高まると考えられる。
(キーワード：「授業が変わる」「生徒が変わる」)